

中学校第三学年 国語科学習指導案

単元名：写真と関連させて詩を味わおう

1 日	時	平成21年10月20日(火) 11:45~12:35
2 場	所	1階 3年 1組教室
3 学	年	第3学年(男子19名 女子18名 計37名)
4 単元名・教材		写真と関連させて詩を味わおう(詩「永久欠番」)

単元について

本単元は学習指導要領の「C読むこと」(第2学年・第3学年)の「ア 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。」及び、「B書くこと」(第2学年・第3学年)の「エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。」を受け設定した。

本単元では「詩の意味を考えながら朗読する」ことが本来の目標である。「詩」を読む際には、散文を読むとき以上に一語一語の言葉の意味を深く読み取っていくことが重要である。ここで、取り上げられている「永久欠番」においても比喩表現が多く使われるなどし、かけがえのない人間の存在が歌われている。したがって、詩を読むとき、言葉の意味を一般的な意味にしばられることなく読み取り、作者が文脈中にその言葉を使うことによって生じる効果についても読み取っていく必要がある。

以上の理由から、本単元は「読むこと」について生徒の課題対応した効果的な学習になると考える。また、読み取った内容を基に、詩にふさわしい写真を選び、適切な根拠を表現させることで個々の読みとりをいっそう深めさせることができるとともに、「書くこと」についての生徒の課題にも対応した学習になると考える。

調査結果からみる課題

誤答分析から

全国学力・学習状況調査 中学国語 B問題3

(1) 問題の概要

詩の内容を理解し、詩の内容にあった写真を選び、条件を満たした根拠を記述する。

(2) 出題の趣旨

語句の効果的な使い方に注意して詩の内容をとらえたり、詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえ、写真という性質の異なる作品と関連づけて、自分の考えを書くことができるかどうかを見る。

(3) 誤答分析

条件にある詩の中の言葉を使って書いていない。

詩と選んだ写真とを関連づけて書いていない。また、詩・写真の両者の共通点が読みとれていない。

「だから、私はこの写真と組み合わせます。」に続くような、整った文章で書かれていない。

以上のことから、生徒のつまづきの原因として、自分の感想や考えを整った文章で根拠を挙げながら説明することができていないことが考えられる。二つ(詩と写真)を並べ、共通点をさがし、感じたり考えたりした内容を「文法的に正しい文章」で表現する力が不十分なためである。

(4) 課題となる力

- ・詩のどこに着目し、どのように感じたかを書く力。
- ・選んだ写真のどのような部分が詩のどの部分と合うと考えたかを説明する力。
- ・問いの条件に合うように答える力。

(5) 指導上の課題

- ・自分の感想や意見を、整った文章で根拠を挙げながら説明させる指導の工夫が十分ではない。
- ・文学的な文章と写真を比較して共通点を探したりする学習が十分ではない。
- ・「問い」に対する読み取り方の指導が十分ではない。

指導改善のポイント

条件を指定した上で、写真と関連づけて、根拠を挙げて説明する。

指導の工夫 説明文の書き方を既習事項をもとに考えさせる。
 選んだ写真と詩を比較させ、共通点を見つけて、その根拠を説明させる。
 条件を説明した上で説明文を書かせ、推敲・交流をさせる。

単元の目標

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・自分の意見文を説得力のあるものにするために、表現の仕方を工夫しようとしている。	・自分の意見の基となる根拠を明らかにして書いている。 ・詩と写真の共通点をもとに根拠を明らかにし、定められた条件を満たし、文章を書いている。 ・自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書いている。	・比喩などの表現技法に着目しながら、主題・作者の主張を読んでいる。	・各連ごとの内容について理解を深めている。

指導と評価の計画

(全3時間)

次	学習内容(時数)	評 価				評価方法	
		関	書	読	言		
一	・詩(「永久欠番」)の復習をする。 ・ミニ鑑賞文を書く。(1)					・各連ごとの内容について、理解を深めている。 ・比喩などの表現技法に着目しながら、主題・作者の主張を読んでいる。 ・自分の意見の基となる根拠を明らかにして書いている。	ワークシート
二	・詩のイメージに合う写真を選び理由を説明する文章を書く。(1) ・評価をする。 【本時1/1】					・詩と写真の共通点をもとに、根拠を明らかにして、定められた条件を満たし文章を書いている。	ワークシート
三	・お互いの文章を交流し合う。 ・評価問題をする。(1)					・自分の意見文を説得力のあるものにするために、表現の仕方を工夫しようとしている。 ・自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書いている。	ワークシート 作品

本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ 詩と組み合わせる写真を選び，詩と関連づけ，指定された条件に沿った鑑賞文を書くことができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 本時の目標を確認する			
前時の学習内容を確認する。 本時の目標を確認する。	T) 鑑賞文を書くときに事前に行うべきことはなんでしょうか。(分析) ・前時にまとめたミニ鑑賞文の書き方(分析)を確認する。		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">4人班指導</div>
詩と組み合わせる写真を選び，詩と関連づけた文章を書こう。			
2 詩と組み合わせる写真を一つ選び，詩と関連づけた鑑賞文を書く。			
鑑賞文を書くという課題を提示する。			ワークシート
T) ワークシートの のようにして，詩と写真を組み合わせて飾るとしたら，あなたはどの写真を選びますか。あなたがふさわしいと思う写真を一つ選び，その理由を条件にしたがって書きなさい。			
5枚の写真 野球場 宇宙から見た地球 スクランブル交差点 空を見上げる人 湖畔に佇む人	・【どの写真を選んでも間違いではないことを明示する。】 ・【条件を明示する】 字数(60字以上90字以下で書いていること) 詩と選んだ写真との関連づけて書いていること。 詩の中の言葉を使って書いていること。ワークシートに示している後の文につながるように書いていること。 立場が明確になっている。		

T) 書く前に「詩」・「写真」・「問題」をそれぞれ分析してみよう		ワークシート
ワークシート にしたがって、「詩」・「写真」・「条件」の分析を行う。 鑑賞文を書く	・各項目に沿って、的確に分析させる。	
3 条件を確認し、		
T) もう一度、鑑賞文の条件を確認しよう。		
<p>字数の条件を満たしている。 【字数】</p> <p>組み合わせる理由が分かるように詩と選んだ写真とを関連づけて書いている。【関連づけた根拠・理由の明確化】</p> <p>詩の中の言葉を使って書いている。【詩の言葉を引用】</p> <p>後に続く文につながるように、文と文のつながりを整えて書いている。【整った文章】</p> <p>・自分がどの写真を選んだのか、立場を明確にしている。 【立場の明確化】</p>	<p>四人班で条件の確認を行う。</p>	<p>作品（ワークシート）</p> <p>・詩と写真の共通点をもとに、詩の中の言葉を使って、根拠を明らかにして、後に続く文につながるようにして、自分の意見を書いている。</p>
<p>お互いの作品を比較・分析する。 以下の2点で点検する</p> <p>どの写真を選んだか、立場がはっきり分かる文章になっている。</p> <p>その他、4条件を満たしている。</p>	<p>作品を通読し、どの写真を選んだのかがはっきり分かる文章になっている。 【字数】【関連づけ】【詩の引用】【整った文章】の4条件を満たした文章になっている。</p>	<p>四人班で振り返り行う。</p> <p>グループごとに、それぞれの作品に対して何が足りないのかを確認させる。</p>
T) グループの中で最も説得力のある作品を選ぼう。		
選ばれた鑑賞文を発表する。		
3 次時の学習内容を確認する。		
別の写真を選んだ人が、どのようなまとめ方をしているのか交流し、評価問題をやる。		